2026年度中間期決算説明資料

大東銀行

（2026年11月現在）

目次

〔主要指標の推移〕

- １．2026/9期（中間期）の業績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ２．貸出金の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ３．総預金+預り資産残高の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- ４．自己資本の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

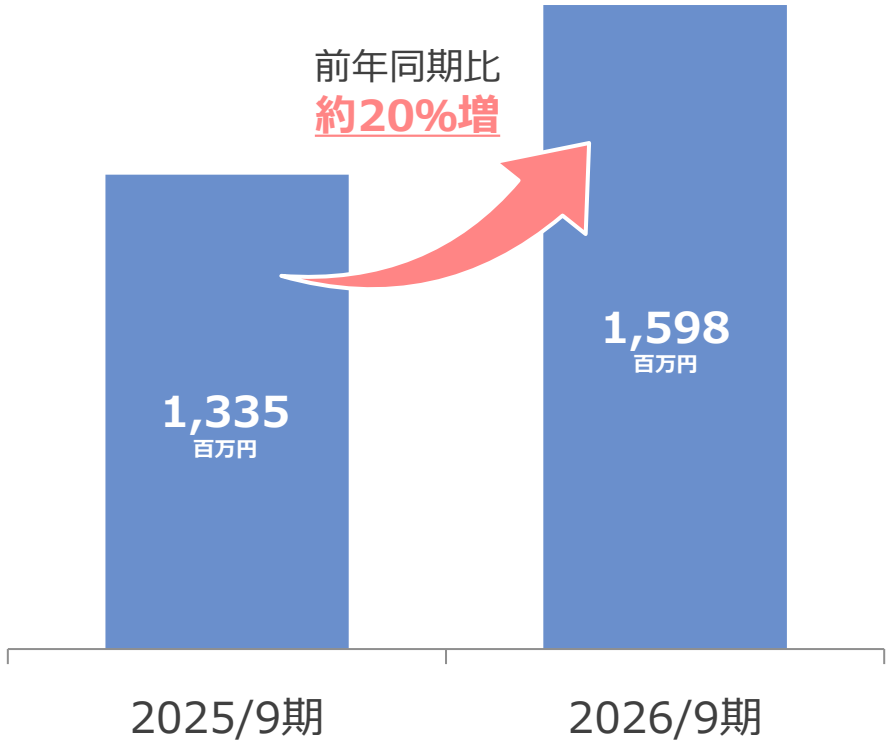
1. 2026/9期（中間期）の業績

貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加などに伴い資金利益が増加したことから、中間純利益は前年同期比1億81百万円増加して11億30百万円となりました。

単体

（百万円）	2025/9期	2026/9期	増減
経常収益	6,912	9,125	2,212
資金利益	4,513	5,100	587
役務取引等利益	357	407	49
有価証券関係損益	△111	△353	△241
経費（除く臨時処理分）	3,531	3,662	130
経常利益	1,364	1,564	199
中間純利益	949	1,130	181
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,335	1,598	263
与信関連費用	32	△18	△51
総資金利鞘	0.21%	0.29%	0.08%

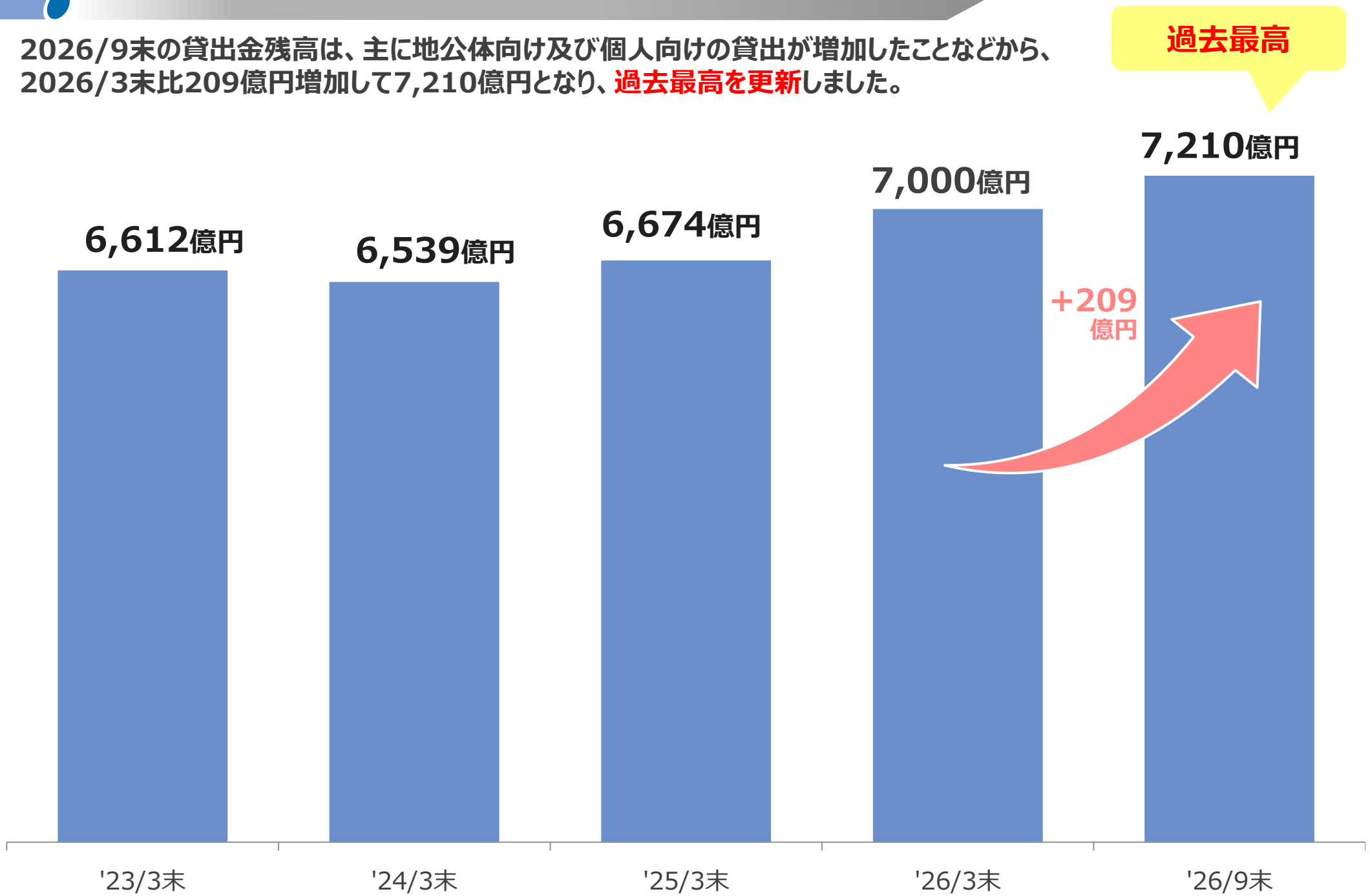
コア業務純益（除く投資信託解約損益）※



※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)
貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

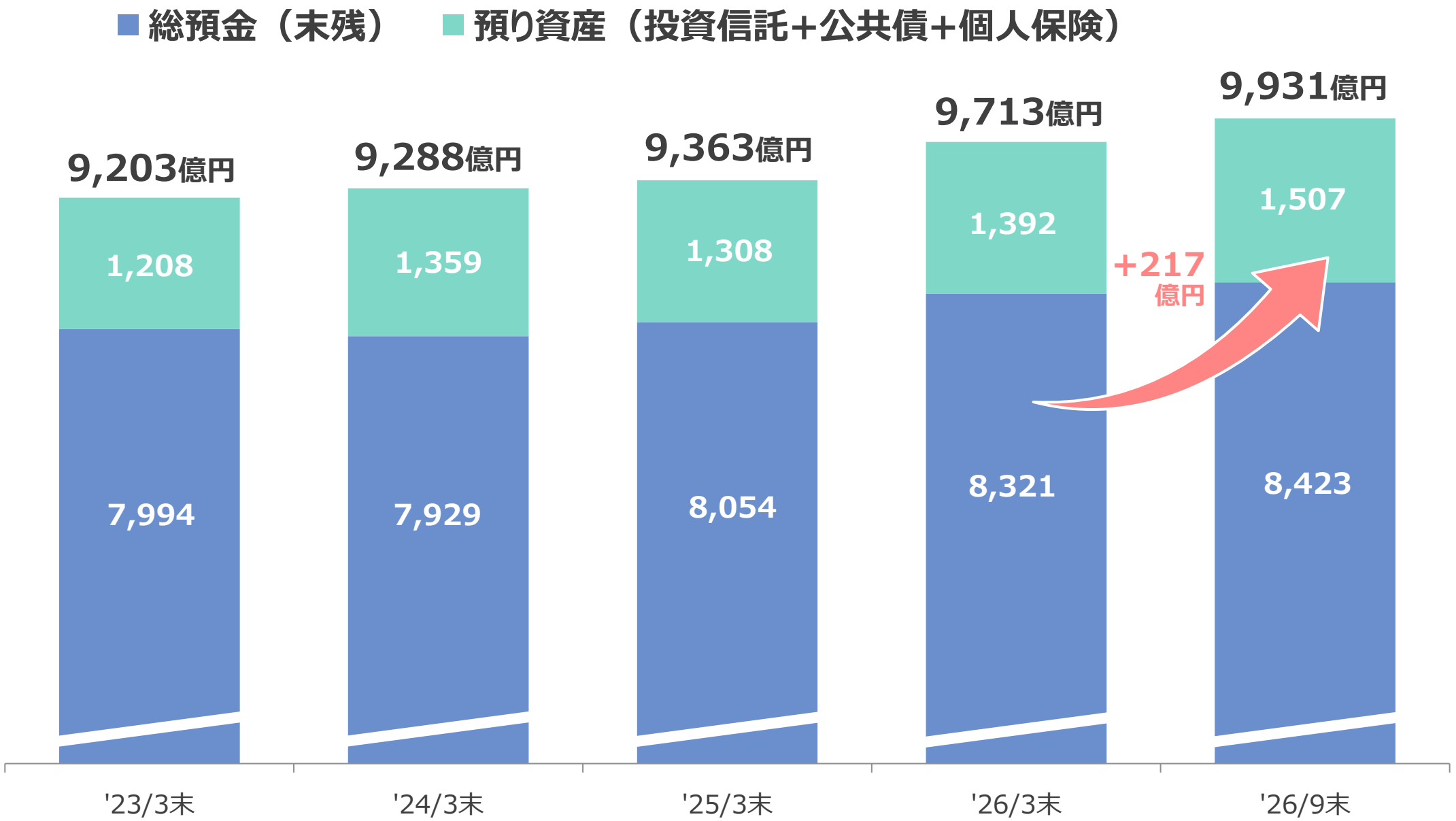
2．貸出金の推移（単体）

2026/9末の貸出金残高は、主に地公体向け及び個人向けの貸出が増加したことなどから、
2026/3末比209億円増加して7,210億円となり、**過去最高を更新**しました。



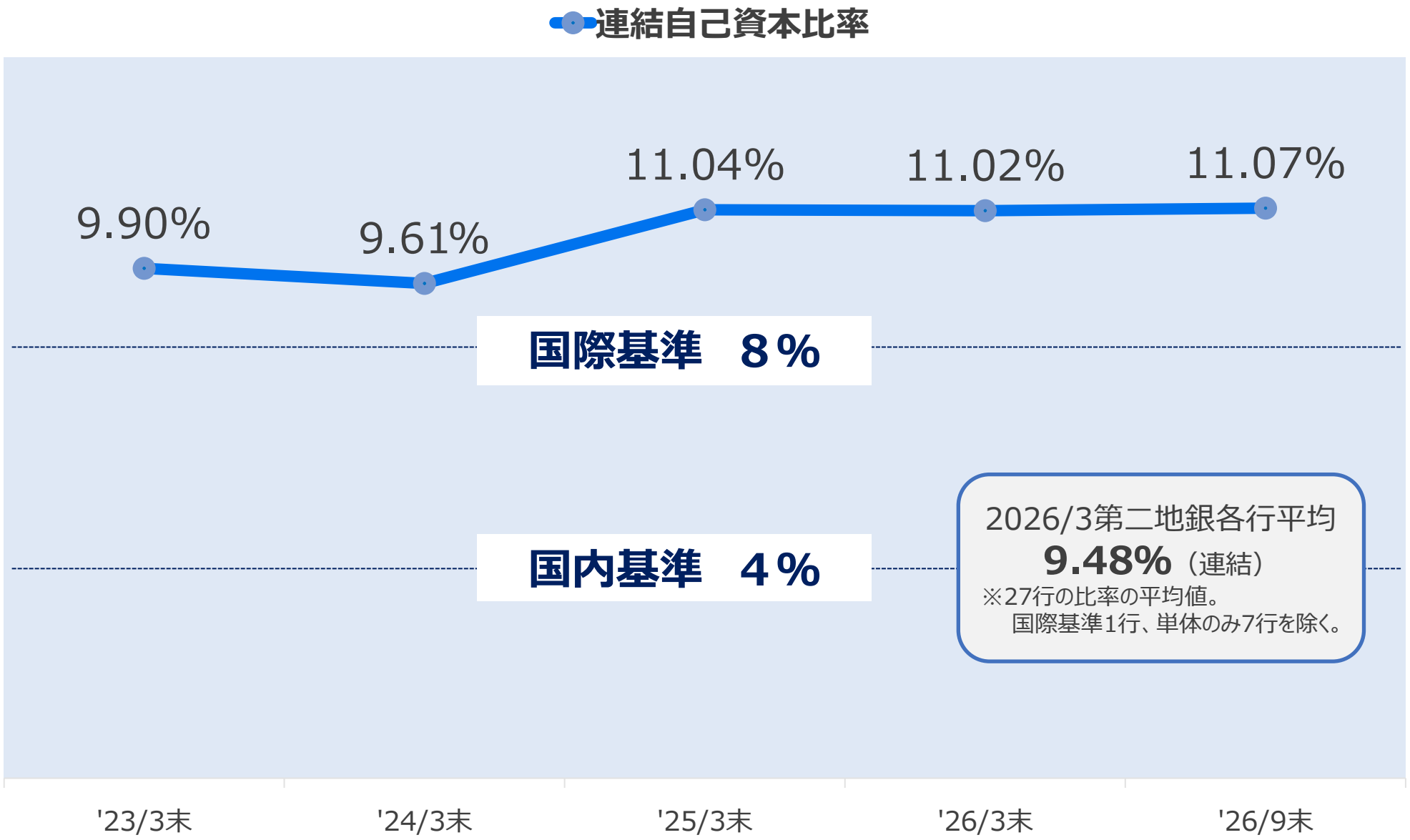
3．総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2026/9末の総預金と預り資産残高は、総預金及び預り資産がいずれも増加したことから、2026/3末比217億円増加して、9,931億円となりました。



４．自己資本の状況（連結）

2026/9末の連結自己資本比率は11.07%となり、2026/3末比0.05ポイント上昇しました。



本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいますようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先
大東銀行　経営部
TEL：024-925-3872